

リリースノート

WebALARM 4.5.0 / 7.5.2

- WebALARM エージェント - 4.5.0
- アップデートマネジメントエージェント - 4.5.0
- WebALARM エンタプライズコンソール - 7.5.2

機能およびアップデート

1. WebALARM エージェント

- 1.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。
- 1.2. Linux 64 ビットサポート

2. アップデートマネジメントエージェント

- 2.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。
- 2.2. Linux 64 ビットサポート

3. WebALARM エンタプライズコンソール

- 3.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。
- 3.2. 日本語版のサポートを追加しました。
- 3.3. レポートデータストレージポリシーを追加

テクニカルノート

1. WebALARM エージェント

- 1.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。

TLSv1.0 のサポートを廃止し、SSL 接続を TLSv1.2 にアップグレードしました。また、証明書ライセンスファイルは SHA256 にアップグレードしました。エンドユーザが WebALARM 4.5 にアップグレードしたい場合は、既存のすべてのライセンスファイル(ver4.3 まで)を交換する必要があります。

- 1.2. Linux 64 ビットサポート

Linux エージェントは 64 ビットモードで完全に動作しています。32 ビットライブラリの依存関係はもう必要ありません。

2. アップデートマネジメントエージェント

- 2.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。

TLSv1.0 のサポートを廃止し、SSL 接続を TLSv1.2 にアップグレードしました。また、証明書ライセンスファイルは SHA256 にアップグレードしました。エンドユーザが WebALARM 4.5 にアップグレードしたい場合は、既存のすべてのライセンスファイル(ver4.3 まで)を交換する必要があります。

- 2.2. Linux 64 ビットサポート

Linux エージェントは 64 ビットモードで完全に動作しています。32 ビットライブラリの依存関係はもう必要ありません。

3. WebALARM エンタープライズコンソール

3.1. TLSv1.2 対応へのサポートを追加しました。

TLSv1.0 のサポートを廃止し、SSL 接続を TLSv1.2 にアップグレードしました。また、証明書ライセンスファイルは SHA256 にアップグレードしました。エンドユーザが WebALARM エンタープライズコンソール (WEC) 7.5 にアップグレードしたい場合は、既存のすべてのライセンスファイル (ver7.4 まで) を交換する必要があります。

3.2. 日本語版のサポートを追加しました。

Web アプリケーションの GUI は、Web ブラウザのロケール設定に従っています。

3.3. レポートデータストレージポリシーを追加

Web アプリケーション GUI にて、WebALARM エージェントのレポートデータストレージを設定できるようになりました。

サポートされているアップグレードパス

1. WebALARM エージェントとアップデート管理エージェント

1.1. Windows

バージョン 4.3 から

1.2. Linux

バージョン 4.3 から

2. WebALARM エンタープライズコンソール

2.1. Windows

バージョン 7.4 から